エンパワーされた女性、平和なコミュニティ：南・東南アジアにおける暴力的過激主義の防止

Photo: UN Women/Allison Joyce

女性と女児は暴力的過激主義の影響を、男性または男児とは異なった形で受けています。大抵の場合、女性たちは暴力的過激派集団の最初の犠牲者ですが、その集団に自ら進んで加入するケースもあり、他の人々を勧誘する役割も果たしています。しかし女性たちは、単なる犠牲者や加害者だけには留まりません。多くの女性が暴力的過激主義の防止活動の最前線に立っています。彼女らの役割は多面的で、コミュニティや家族の価値観を形成し、潜在的な加入者の意思決定に影響を与え、テロリズムにつながる急進化の初期の兆候を特定かつ介入し、女性のイスラム教指導者は宗教的寛容を説き、女性警察官は情報収集のために地域社会と関わっています。

アジアにおける急進化と暴力的過激主義を防止し、問題への対応の取り組みが女性の権利、エンパワーメント、参加、リーダーシップを考慮かつ優先することを確実にするために、UN Womenは、日本政府の支援の下、「Empowered Women, Peaceful Communities (エンパワーされた女性、平和なコミュニティ)」事業を南・東南アジア（主にインドネシア、バングラデシュ及びフィリピン）で実施しています。

UN Womenのアプローチ

UN Womenのアプローチは、強靭で結束した平和なコミュニティを構築するための女性のエンパワーメントの促進に基づいており、特に最も周縁化され脆弱な状況に身を置く女性たちを考慮に入れています。

UN Womenの主な取り組み

- コミュニティにおいて社会的結束を強化するための戦略として、女性のリーダーシップ及び経済的エンパワーメントを促進する
- 暴力的過激主義の防止や社会的結束に取り組む女性団体とネットワークの能力強化を通じて、政策に影響を与える
- 暴力的過激主義を防止するために女性が果たす役割に関するエビデンス（根拠・証拠）と社会的理解を高める
- 南・南協力（開発途上国間協力）及び知識の共有を促進する

From
the People of Japan

UN WOMEN

Photo: UN Women/Eric Gourlan

インドネシア：平和で強靭なコミュニティを促進するために、UN WomenとインドネシアのNGOワヒッド財団は女性主導の平和村イニシアチブを立ち上げました。平和村を作り上げるため、コミュニティメンバーは、家庭の中で平和を作ることから始めて、コミュニティの中で寛容と平和を保護及び育成することにコミットしています。

「平和村イニシアチブは、村の意思決定プロセスに、より多くの女性が参加するための女性の参加権を拡大しました。村の意思決定の場に女性が参加する事によって、彼女たち自身が自分たちには発言権があり、その声は受け入れられる事を認識するようになりました。女性たちは社会的、政治的自信を高めたのです。」ー東ジャワ州・スメネプ県・グルックグルック村の平和村イニシアチブ参加者

バングラデシュ：UN Womenは、バングラデシュのブラック大学（BRAC）との協力により、女性の社会起業家及び活動家のためのプラットフォームである「Women Peace Café～女性平和カフェ～」を現地の複数の大学内に設立しました。学生主導の本プラットフォームは、社会的起業家精神を利用した平和の促進及びコミュニティの人々の生活の改善を達成するために若い女性たちと共に活動を展開しています。

Photo: UN Women/Fahad Kaizer

Photo: UN Women/Joser Dumbrique

フィリピン：フィリピン南部においてUN Womenは、現地のNGOであるモロプレナー（TMI）と協力して、バシラン州及びマギンダナオ州にある２０以上の急進化のリスクのあるコミュニティで活動を展開しています。多くの若い女性及び男性が社会起業のための技術を高め、食品、伝統的な織物、工芸関連の企業を設立しています。

From
the People of Japan

UN WOMEN